



ピウラ通信

永遠に夏の街ペルーのピウラからのレポート

第 1 号

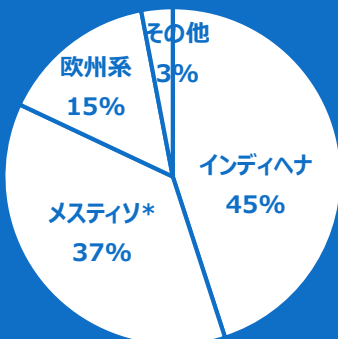
はじめに

¡Hola! みなさんこんにちは

青年海外協力隊で南米のペルーに環境教育隊員として派遣されている舟橋拓矢です。現在ピウラ市役所環境管理部に所属して活動しています。

初めての今回はペルーと任地の概要をお伝えします。

ペルーの民族構成



*主にインディヘナと白人の混血を指す

出典：[外務省 ペルー基礎データ](#)

構成割合は諸説ありますが、ペルーは多民族国家でそこに暮らす人たちのルーツは様々です。大半が先住のインディヘナの血を引く人たちですが、移民を多く受け入れていた背景があるため文化が多様です。

ちなみにペルーは世界で3番目に日系人が多い国でもあり、各分野でご活躍されています。

ペルーについて

国名	: ペルー共和国	日本国(比較)
面積	: 約 129 万km ²	約 37 万 8000 km ²
人口	: 約 3,200 万人	約 1 億 2600 万人
首都	: リマ(人口約 890 万人)	東京 (23 区約 947 万人)
言語	: スペイン語、他にケチュア語、アイマラ語など	
宗教	: 約 80%がカトリック教徒	
隣接する国	: (北から時計回りに)エクアドル、コロンビア、ブラジル、ボリビア、チリ	

出典：[INEI\(ペルー国家統計情報局\)](#)、外務省、総務省統計局、東京都総務局統計部

ペルーは日本の3倍以上の国土を持ちますが、人口は約1/4でその内の30%近くの人々は首都圏に住んでいるため町と町の間は何も無いということがよくあります。

地域は大きく3つに分けられ、太平洋沿岸部はコスタ(Costa)、アンデス山脈の高山地帯はシエラ(Sierra)、東部のアマゾン川流域の熱帯雨林地域はセルバ(Selva)と呼ばれています。地域により気候が異なり世界の気候帯の7割以上が集まっていると言われていました。

人びと

ピウラに来て4か月程経ちますが、私の周りのペルーの人たちの印象は人とのつながりを大切にする、若い人が多いということです。シャイな人もいますが、外国人であっても気軽に話をしてくれて困ったことがあると何かしら助けようとしてくれます。このことはペルー人同士でも同じなようです。また、家族を非常に大切にすることがあり、1週間に1度は誰かしら私に日本の家族と電話したのか聞いてきます。時差もあるので電話でなくメッセージを先週送ったと答えると、寂しくないのか、なぜもっと頻繁に連絡を取らないのかと不思議そうな顔をされます。



出典：[Wikipedia](#)

ペルーを南北に貫くアンデスの山の頂から流れ出る水が川となりセルバではアマゾン川となります。ペルーの半分以上はセルバで首都やピウラのようなコスタは割合からするとごくわずかです。コスタでも南北で様子が変わってきます。



職場からの眺め。部署は市役所の6階にありますがエレベーターは昨年の洪水で水に浸かってしまい故障中のため歩いて登っています。市役所の前にはアルマス広場があり市民の憩いの場であり向かいには大聖堂があります。

何かと親切な人が多いのですが、待ち合わせや約束となると・・・日本人の感覚からすると少し余裕を持たなければならないことが多いです。あと、ペルーには若い人が多いです。日本と比べて街で若者や子供たちを多く見かけられ、近所の公園では夕方から夜まで多くの子供たちが遊んでいます。ペルーの人たちと一緒に過ごしてみてペルーは個人主義と少子高齢化が進んでいる日本とは対照的な印象を受けました。

ピウラについて

私が活動しているピウラは、同国北西部のコスタに位置しピウラ州の州都でもあります。首都リマからは約 980 kmの距離にあり、飛行機で 1 時間半ほどかかります。日本でいうと東京から長崎に行くような距離です。約 100 km北上するとエクアドルとの国境になります。市内にはピウラ川の中流が流れていて、去年はエルニーニョ現象の影響で洪水が発生して市内も冠水する大きな被害が出たそうです。現在、配属先が管轄する中心区域には約 30 万人が住んでいます。

気候は砂漠気候のため降水量は少なく赤道に近いため年間を通して平均最高気温は 30℃を超えます。蒸し暑い日本の夏と比べると乾燥しているので過ごしやすいですが、そうは言っても 1 月から 3 月は最高気温が日本の猛暑日並みに上がるため暑いです。

歴史

そもそもピウラはケチュア語で穀倉を意味し、先住の人たちが住んでいました。1532 年に征服者フランシスコ・ピサロらがパナマ地峡を越え、太平洋を船でやって来た時はインカ帝国の支配下でした。この時、南アメリカで初めての植民都市を建設したのがこの町の始まりです。

現在

ピウラはペルーでも 5 番目に人口の多い都市で INEI によると郡全体では約 76 万人が住んでいます。青年海外協力隊というと電気や水道がないところで生活しているイメージがあるかもしれませんが、ここ数年ペルー経済が好調であるおかげもあってか市内には 3 つのショッピングモールもあります。停電や断水などは時々起こりますが、ここでは生活に必要な物は揃っています。

一方、人々の生活が豊かになってきていますが、急速な都市化や生活の変化で様々な社会問題も起きて始めています。その内の 1 つがごみ問題で、今回環境教育ボランティアの要請があり赴任することになりました。本活動を通してピウラのごみ問題の解決に向けて少しでも役に立てるよう活動していきたいです。

あとがき

日本の記録的な大寒波とは反対に夏本番といった感じで 10 月末に赴任して来た時よりも更に暑くなっています。ペルーというとマチュピチュ、アルパカ、コンドルは飛んでいくといったアンデスの風景をイメージする人も多いかと思いますが、今回のレポートで少し紹介したようにペルーには多様な自然環境が存在します。また、ペルー北部は日本語のガイドブックでは記載が少なく、あまり知られていない地域なので皆さんに少しでも紹介していければと思います。

2018 年 3 月 1 日

青年海外協力隊 2017 年度 2 次隊

派遣国：ペルー 職種：環境教育

舟橋 拓矢

Email：funabashi.takuya@friends.jica.go.jp